

シャワーブース

# ACQUA ZZURRA

アクアツーラ・スクエアタイプ

## GX-B7580 施工要領書

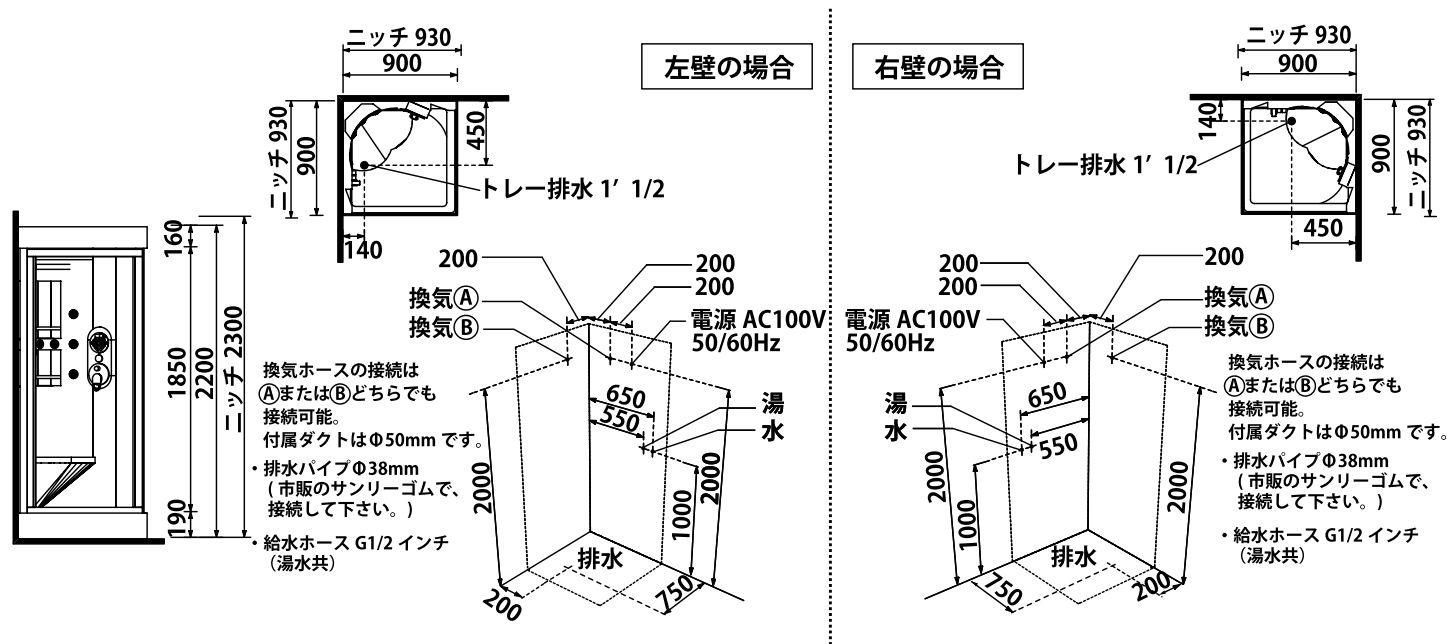


このたびは、シャワーブース ACQUAZZURRA (アクアツーラ) をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。  
 ACQUAZZURRA (アクアツーラ) は、ヨーロッパを中心に世界中で幅広く使用されているシャワーブースです。  
 組立て・ご使用前には必ずこの『取扱い・組立て説明書』をよくお読みになって正しくご利用になってください。  
 また本書は、設置～ご使用開始後も大切に保管してください。

## はじめに (工事前にご確認下さい)

### 《 接続ポイントについて 》

各接続ポイントの位置は、以下の通りとなります。



## 防水について

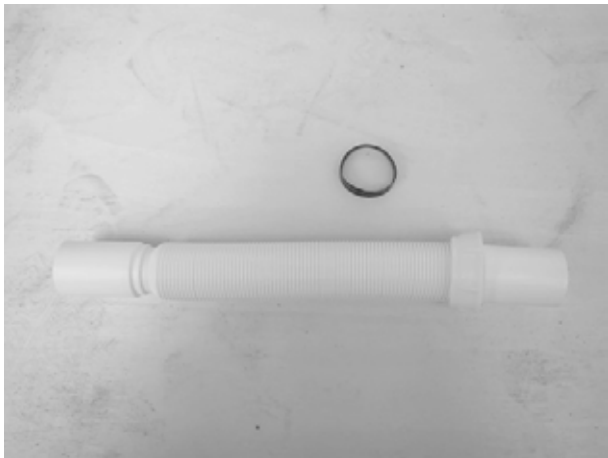
当製品は箱形のシャワーブースにつき、防水下地の施工がされていない室内への設置が可能となっております。  
 但しタイル貼りなど、バスルームとして利用するにあたり水分や湿度に十分耐えうる内装材である必要があります。  
 また組立て時には、シャワートレイ (床面パネル) と壁面パネルの接続部分等、水のかかる接続部分には、  
 全てシリコンコーキング等で十分に防水処理を施すことをお願い致します。

それでは組み立てを始めましょう。

## 1 排水ホースの接続

シャワートレイの裏側に排水ホースを接続します。

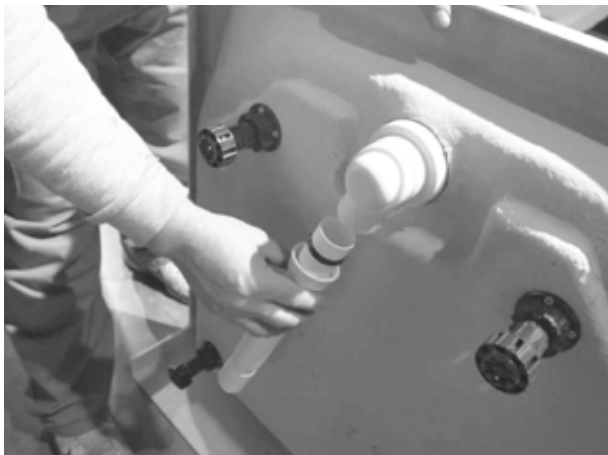
①ジャバラ式ホースとゴムリングを用意します。



②ジャバラ式ホースの締め付けリングが付いている側に、ゴムリングを取付けます。



③シャワートレイ裏側の排水口に、ゴムリングを取付けた排水ホースの口を接続します。

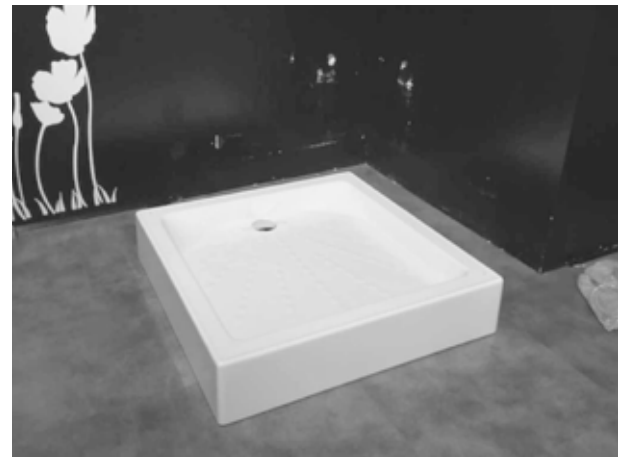


④ジャバラ状になっている排水ホースを引き延ばし、後方（直線部分の辺）方向にホースを曲げておきます。



## 2 シャワートレイの仮設置

①シャワートレイを設置予定の場所に仮設置します。



②シャワートレイの四方の辺に水準器を置き、水平具合を確認します。



③水平でない場合、シャワートレイ裏面のアジャスターを回転させ、水平になるように調整していきます。



### ⚠ 注意

シャワートレイが水平に設置された状態で、内部床面は排水口に水が流れるよう勾配の付く設計になっております。

## 3 シャワートレイへのシリコン打ち

①シャワートレイの水平調整が完了したら、組立て作業を進めるため一旦手前に引き出し、L型壁を仮置きします。

そしてシャワートレイとL型壁の接続ラインを鉛筆など（消せるもの）でマークしてください。

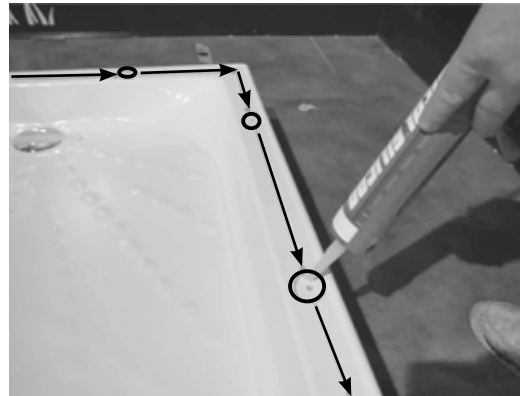


②鉛筆でマークしたら一旦L型壁をどかし、接続ライン（接続後見えなくなる部分）にシリコンを打ちます。



### ⚠ 注意

ネジ穴の周りは、これの外側を丸くかこむようにシリコンを打ってください。



両端部ミラー付近は接続ラインが直線でない箇所があります。シリコンを打つラインを間違いないよう十分ご注意ください。



## 4 シャワートレイとL型壁の接続

①シャワートレイにL型壁を乗せます。



### ⚠ 注意

このときシャワートレイとシャワーウォールのネジ穴位置が一致する位置になるよう、注意しながら乗せてください。

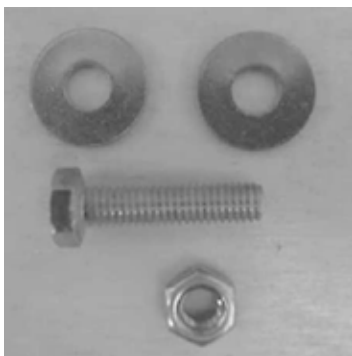


②シャワートレイとL型壁を接続するネジ類を用意します。

《使用ネジ類/セット》

- ボルト M 6x 25 x 1
- M 6ワッシャー x 2
- M 6ナット x 1

※これを6セット用意してください。



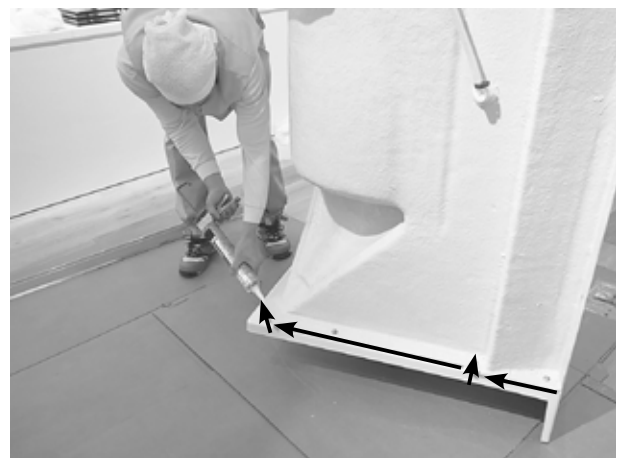
③ボルトにワッシャー1枚を差し込み、シャワートレイの下から穴に差し込みます。



④シャワーウォールの穴の上から別のワッシャー1枚とナットを差し込み、接続していきます。(6カ所)



⑤シャワートレイとシャワーウォールを接続したラインに、外側からシリコンを打ちます。





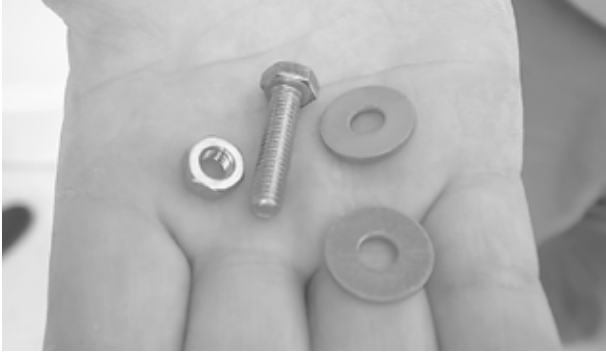
## 5 天井の取付け

① L型壁と天井を接続するネジ類を用意します。

《使用ネジ類 / セット》

- ボルト M 6x 25 x 1
- M 6ワッシャー x 2
- M 6ナット x 1

※これを6セット用意してください。



②天井パネルを乗せます。  
※必ず2名以上で作業してください。  
※写真はイメージになります。  
(アクアツーラ / ビルトインタイプの写真になります)



③ L型壁と天井を接続します。  
ボルトにワッシャー1枚を差し込み、天井パネルの上から穴に差し込みます。  
そしてL型壁の穴の下から別のワッシャー1枚とナットを差し込み、接続していきます。(6カ所)

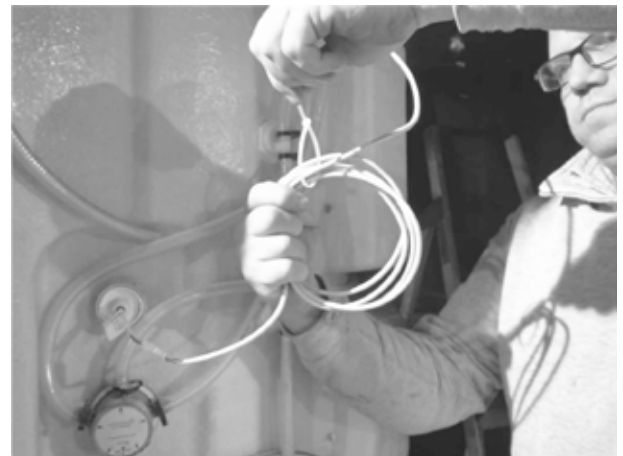


## 6 電源コネクタの接続

①天井外側にあるコントロールボックス（プラスチックの箱 / 電子回路が内部に入ってます）から出ているコネクタ付コードを引き延ばし、L型壁裏面の同コネクタ接続部口に接続します。

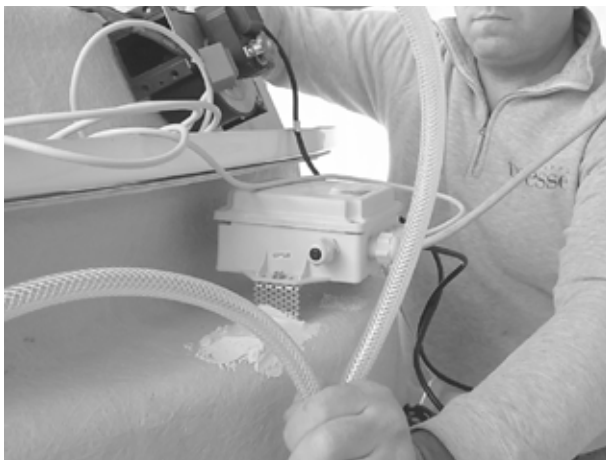
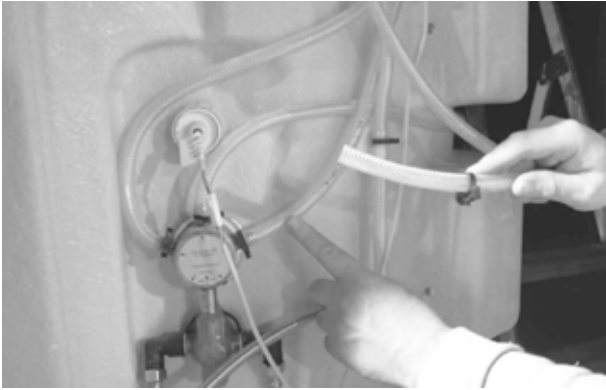


②接続したら、余分な長さのコードをインシュロックで束ねてください。



## 7 レインシャワーホースの接続

①配水ユニットの2番に接続されているホースの端を、天井パネル上部外側まで持っていきます。



②シャワールーフ上面にあるレインシャワー給水口の位置にあわせて、余分な長さの分だけホースをカットします。



③ホースにホース締め付け具（プラスチック製）を通した状態で、ホースをレインシャワー給水口に差し込み、接続部分をホース締め付け具（プライヤーなど）で締め付けます。



## 8 給水（冷水&温水）ホースの接続

①給水ホース2本（冷水・温水）の端を、配水ユニット下部／左右に接続してください。



②接続したら、プライヤーでしっかり締め付けてください。

※青色：冷水 赤色：温水になります。



③給水ホース2本の反対側の端を、建物壁面の給水口（湯水共）に接続します。



## 9 排水ホースと電源の接続

①排水ホースを引き延ばし、床面の排水口に接続します。



②電源を接続します。



### ⚠ 注意

電源については、設置する場所の湿度や温度により防湿、防水、アースなどの対策が必要となります。

必ずこれらの知識の有する専門技師による接続をするようお願いいたします。

③ここまで完了したら、シャワーブース本体を設置場所へ移動します。





## 10 アスピレーター（換気扇） ホースの接続

①アスピレーター（換気扇）のホースを、建物壁面の換気扇ホース接続口に接続してください。



※アスピレーターのホース直径は約 50mm です。



②※ここで確認のため、シャワートレーの水平状態とシャワーウォールの垂直状態を確認してください。



## 11 シャワーブース本体の固定

①シャワールーフの角 2 カ所をネジ類で壁に接続し、シャワーブース本体を壁面に固定します。



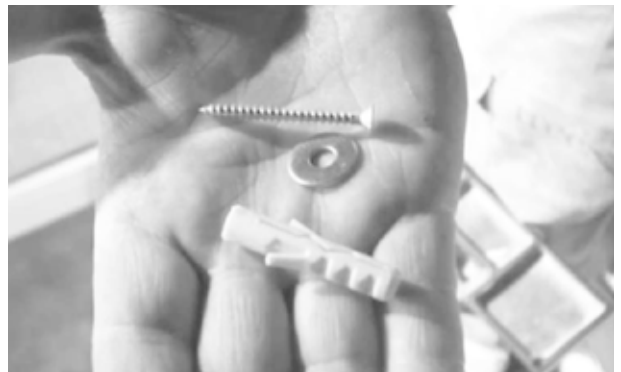
《使用ネジ類 / セット》

□木ネジ M 4x 40 x 1

□M 4ワッシャー x 1

□M 4ウォールアンカー x 1

※これを 2 セット用意してください。



②ネジを打ち込む箇所に、8mm のドリルで下穴を開けます。



③下穴に、M4 ウォールアンカーをハンマーで叩いて差し込みます。



④木ネジにワッシャーを差し込み、壁面に打ち込んでいきます。



⑤同じ手順で反対側の角も固定していきます。



## 12 サイドC型フレームの取付

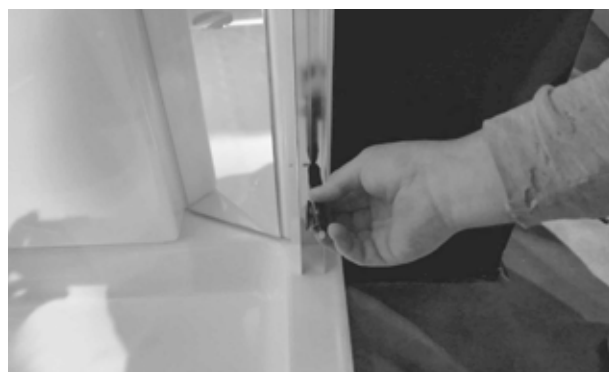
①開口部の左右端にC型のフレームを取付けます。



※サイドC型フレームは、下写真の位置（壁パネル端のカーブがはっきり見える位置）に取付けます。



②ネジ穴位置に、ペンで印を付けます（上下共）



④サイドC型フレームを一旦どかして、先程印を付けた箇所にM3ドリルで穴を開けます（上下共）



⑤サイドC型フレームの中央部にシリコンを塗布し、先程開けた穴にネジ穴をあわせて接着します。



⑥付属のナベM4x32ドリルネジを差し込んで固定します（上下2カ所）



⑦反対側も同様の手順で取付けます。





### 13 袖ガラスの組立と取付け

①袖ガラスにガラスフレームを接続します。



②下写真の通り、ガラスフレームを袖ガラスのフレームに差し込みます。



③逆さまにして、もう一方にもガラスフレームを取付けます。



④ガラス固定具と皿ドリルネジを6セット用意します。



⑤袖ガラスの角にガラス固定具を差し込みます。

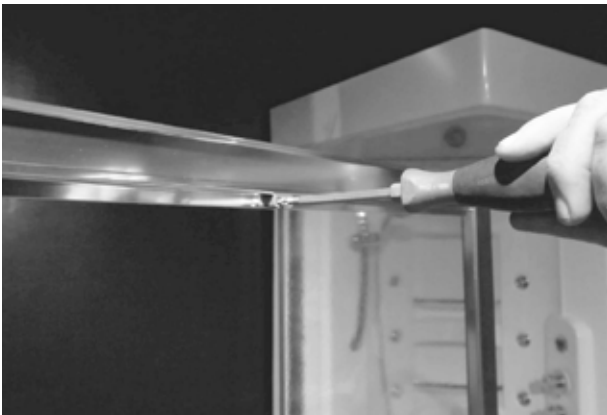




⑥ ガラス固定具のネジ穴がある箇所にも M 3 ドリルを差し込んでガラスフレームに穴を開けます。



⑦ ハンドドライバードリルネジをねじり込み、袖ガラスをガラスフレームに固定します。



### ⚠ 注意

電動ドライバーやインパクトドライバーは使用しないでください。

⑧ 逆さまにして、もう一方も同じ手順で固定します。

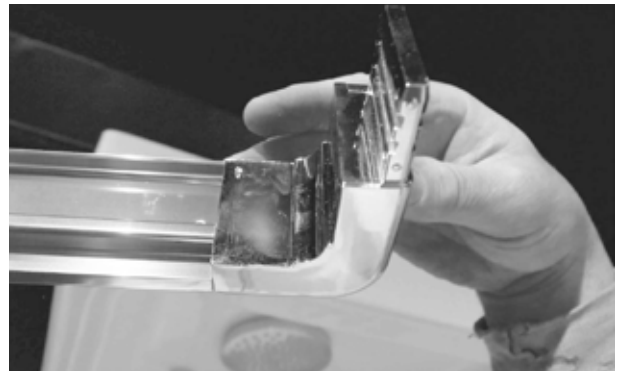


同じものを 2 セット組み立てます。

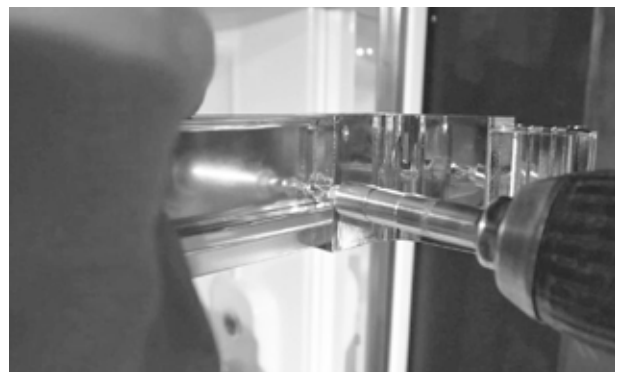
⑨ L 型接続具でガラスフレームを接続します。

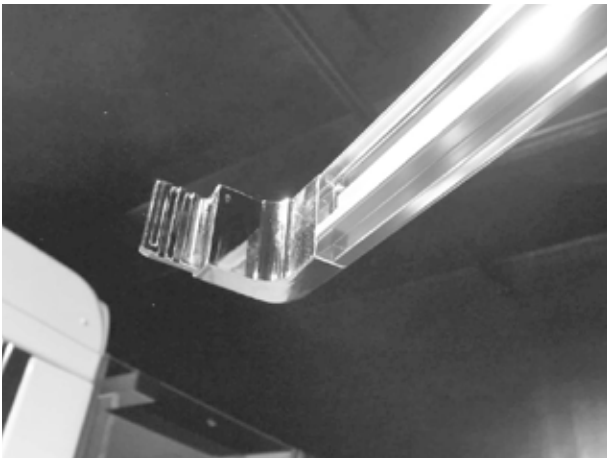


⑩ L 型接続具をガラスフレームに差し込みます。

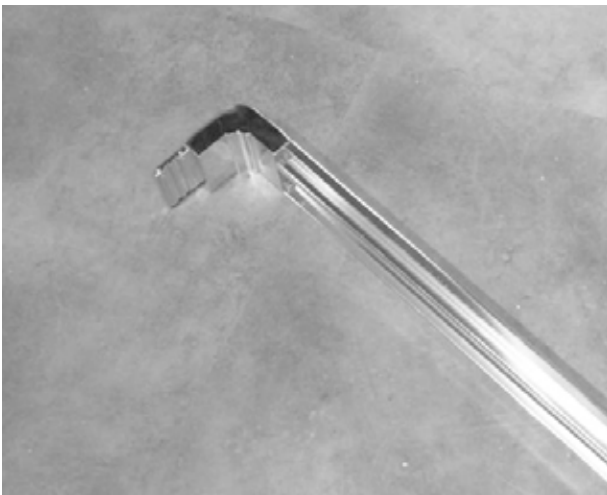


⑪ 鍋ドリルネジで L 型接続具をガラスフレームに固定します。

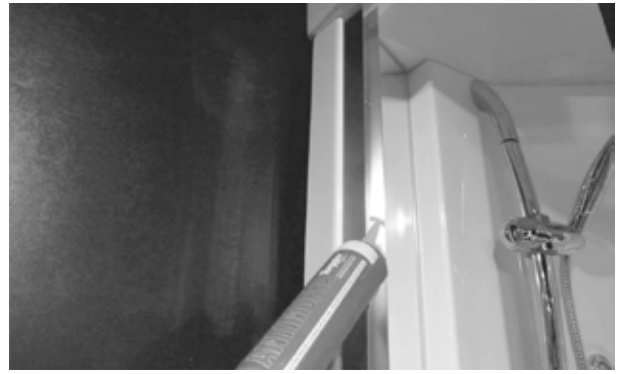




⑫逆さまにして、もう一方のL型接続具も、鍋ドリルネジでガラスフレームに固定します。



⑬サイドC型フレームの内部にシリコンを打ち込みます。



⑭先程組立てたものの、袖ガラスのフレーム部分をサイドC型フレームの内部に差し込みます。



⑮同じ手順で反対側の組立てたものも、サイドC型フレームの内部にシリコンを打ち込んだ後、差し込みます。



⑯下部分のL型接続具をガラスフレームに差し込んで接続した後、銅ドリルネジでこれらを完全に固定します。  
(もう一方を固定した時と同じ手順です)



⑰上部分のL型接続具をガラスフレームに差し込んで接続した後、銅ドリルネジでこれらを完全に固定します。  
(もう一方を固定した時と同じ手順です)

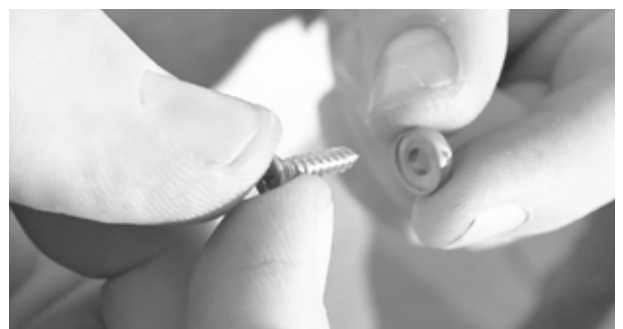
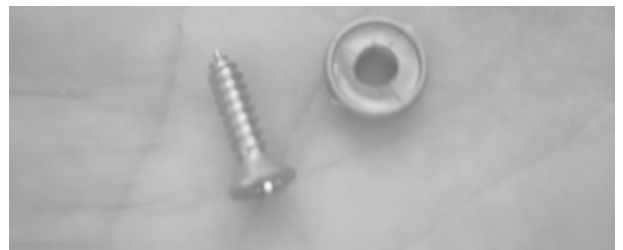


## 14 サイドC型フレームと袖ガラスのネジ固定

- ①ガラスフレームが適正な位置（床パネルや天井パネルと平行になっている）であることを確認してください。  
(適正な位置でない場合は、手で押すなどをして調整し、養生テープなどで固定してください)
- ②サイドC型フレーム内側の、『上から50mm/内側から15mm程度』の場所に、ネジ穴を開けます。



③付属のサラM 3.5x12mmドリルネジにキャップ留めワッシャーを差し込み、さきほど開けたネジ穴に差し込んでドアフレームを固定します。



④ネジの頭にキャップをセットします。



⑤下側も同じ手順で、『下から50mm/内側から15mm程度』の場所にドリルで穴を開け、C型フレームと袖ガラスをネジ固定します。

⑥反対側の上下も同じ手順で、C型フレームと袖ガラスをネジ固定します。

## 15 スライドガラスの部品取付け

①スライドガラス2枚についてはその金属縁を内側とし、それぞれを『右』と『左』に決めます。

※2枚のスライドガラスは同じものですが、作業の手順上、この行程にていづれが右か左かを決定します。

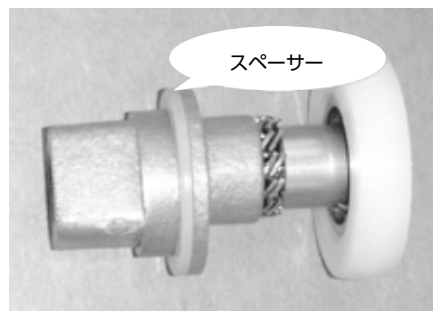
(写真の置き方の場合、これは左スライドガラスになります)



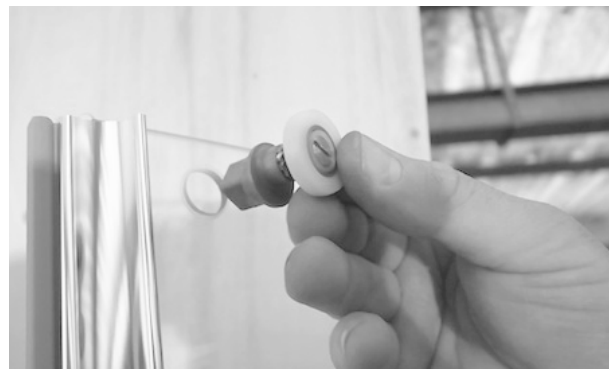
②右スライドガラスを用意します。  
ローラー、ローラ固定具、サラ M 6x 8 六角ネジ、  
スペーサーを各2個準備します。



③スペーサーをローラーに差し込みます。

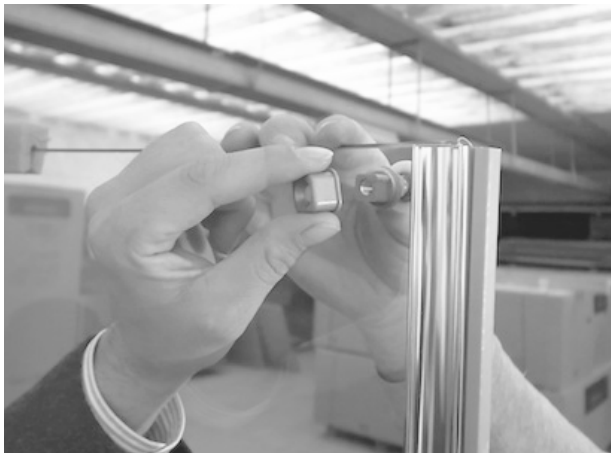


④右スライドガラスの上左穴に、外側からローラーを差し込みます。





⑤いま差し込んだローラーを、ドアパネルを挟み込む要領で裏側からローラー固定具を押し込みます。



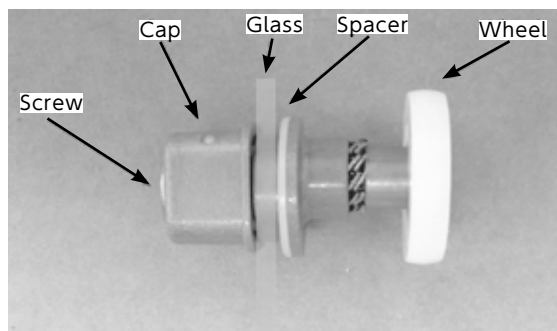
⑥サラ M 6x 8 六角ネジをローラー固定具に差し込み、付属の六角レンチで”軽く”仮固定します。



⑦（外側から見て）上右穴も同じ要領で、ローラー、ローラ固定具、サラ M 6x 8 六角ネジを取り付けます。



《断面図》



⑧右スライドガラスの上端に、パッキン（短）を取り付けます。（ヒダ部分を外側に）



⑨右スライドガラスの右端に、パッキン（長）を取り付けます。（ヒダ部分を外側に）



⑩左スライドガラスにも同じ要領で、上端にパッキン（短）、右端にパッキン（長）を取り付けます。（ヒダ部分を外側に）



## 16 スライドガラスの取付け

①上2カ所のローラー / 上端及び側端のパッキンを取付けたら、スライドガラスを内装側から取付けます。

内側からガラスフレームのレール部分にローラーを吊り下げる要領で取付けてください。



②ここでローラー部品を2セット用意し、スライドガラス下左右2カ所の穴に取付けます。

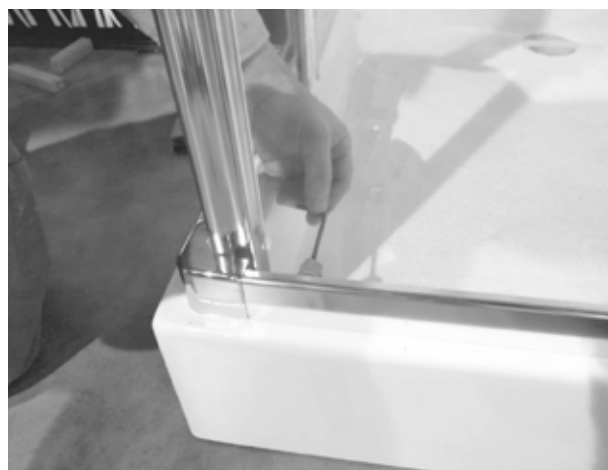


③先にローラーをガラスフレームのレール部分へはめ込んだ上で、前と同じ要領でローラーをスライドガラスに取付けてください。



④サラ M 6x 8六角ネジで”仮固定”してください。

※後ほどローラーの取付部分をまわして高さの微調整をしますので、まだきつく固定しないでください。



⑤同じ手順で左スライドガラスも取付けてください。

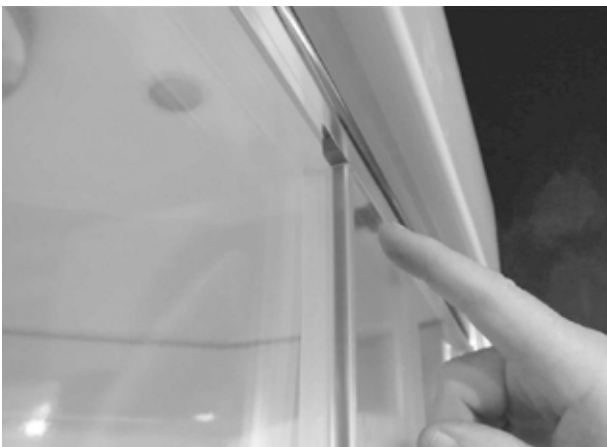


## 17 袖ガラスへのパッキン取付け

①袖ガラスにパッキンを取付けます。  
(ヒダ部分を内側に)



②パッキンは上端をピッタリにあわせてください。



③下端が長い場合、ハサミなどでカットしてください。



④同じ要領で、左側の袖ガラスにもパッキンを取付けます。(ヒダ部分を内側に)

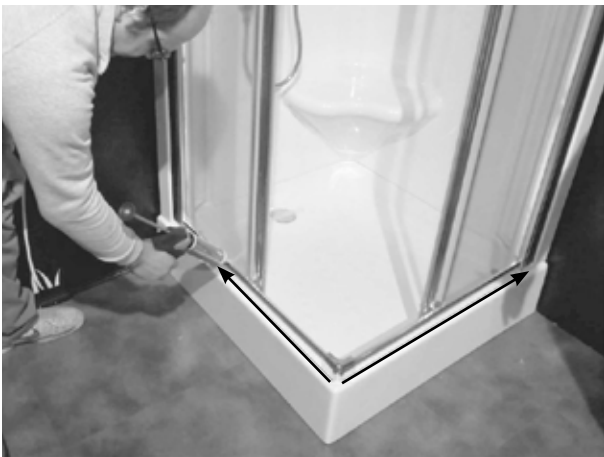




## 18 シリコンコーキング

①シャワートレイとガラスフレームの間から水が入らないよう、シリコンコーキングを打ちます。

※マスキングテープを必ずご利用ください。



②天井パネルとガラスフレームの間にも水が入らないよう、同じ要領でコーキングを打ちます。

※マスキングテープを必ずご利用ください。

## 19 左右スライドガラスの微調整

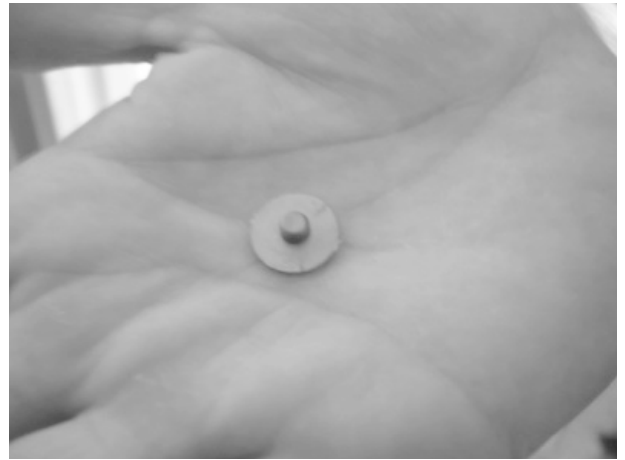
①ここで何度か左右のスライドガラスを開閉し、その動きやスライドガラス同士が接続する角部分に隙間が無いかを 確認します。

※ここに隙間がある場合、仮固定されているローラー固定具を手で回して扉の傾き具合を調整し、扉と扉の間に隙間が無いようにします。

隙間が無くなったら、六角ネジを締め込んで扉の高さ位置を決定します。



②扉の傾き具合を調整したら、全てのローラー固定具に”ローラー固定具キャップ”を取付けてください。



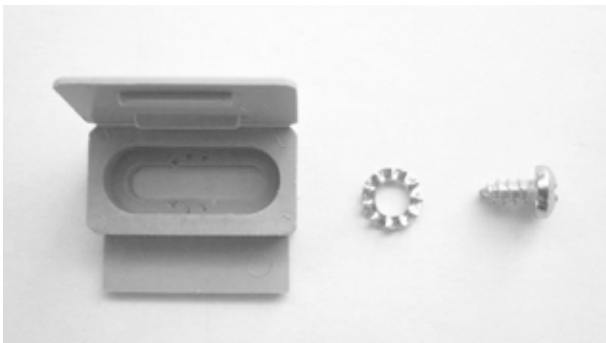


## 20 扉ストッパーの取付け

①レール内側の、角付近部分に扉ストッパーを取付けます。(写真は下レール)

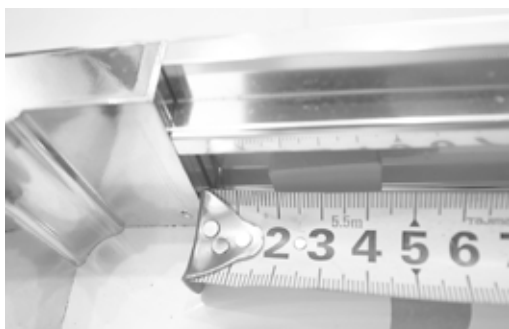


②こちらが扉ストッパー、ロックワッシャー、専用ドリルネジになります。



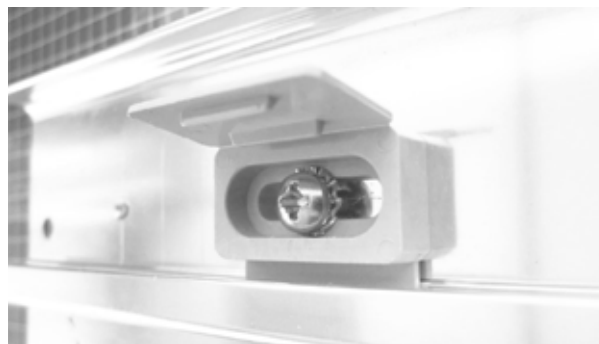
③取付け位置はレール内側の、コーナー部品の端から20mmの位置に扉ストッパーの端がくる位置になります。

テープなどで印をすると、より確実に取付けすることができます。



④取付位置が確定したら、ロックワッシャーと専用ドリルネジで扉ストッパーを固定します。

このときのネジの位置は、扉ストッパーのネジ穴中央部分の位置になるようにします。  
(これが端だと、次項にあるフタが閉まらなくなる場合があります)



⑤フタを閉めます。



⑥同じ要領で反対側も設置します。



⑦同じ要領で、上レール内側の左右にも、扉スロッパーを取付けます。



⑧4個全ての取付が完了したら、何度か開閉テストをしてください。  
2枚の扉が完全に閉じた際、その接続部分（角部分）が常にピタッと確実に接続できれば完成です。

うまくいかない場合は、扉スロッパーの位置をはじめ、あらためてローラーの水平方向を調整するなどをしてください。



## 21 サイドモールディングの取付

①左右のシャワーブースと壁面の隙間に、サイドモールディングを取付けます。  
設置環境により、最適と思われる面にシリコンコーキングを打ちます。



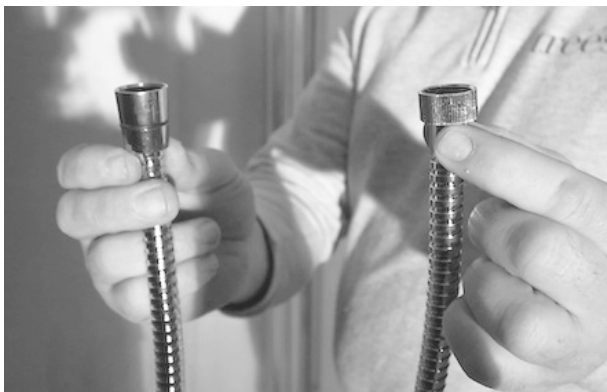
②本体壁面と建物壁面の隙間に、再度モールディングを取付けます。



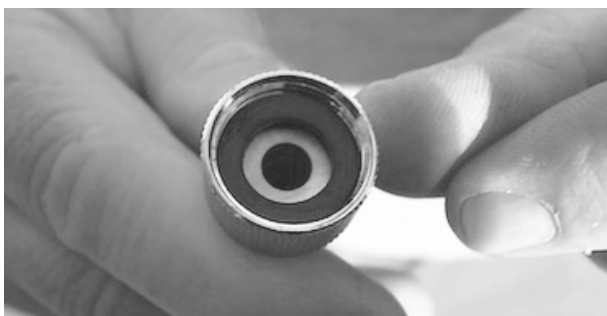
③同様の手順で、反対側のサイドモールディングも取付けます。

## 22 シャワーホースの接続

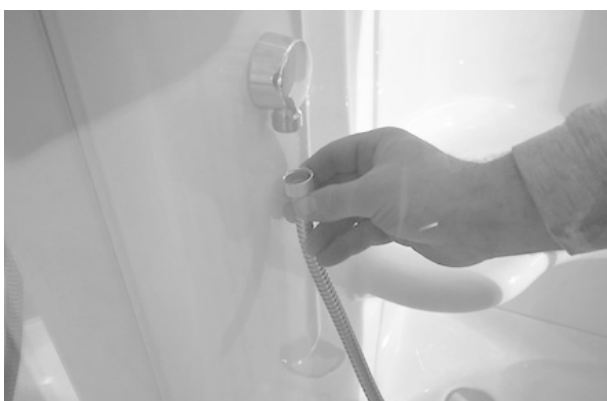
①シャワーホースを用意します。



②シャワーホースの端のうち、小さい金具の付いている方にゴムパッキンをセットします。



③ゴムパッキンをセットした側のシャワーホースの端を、シャワーブース内部左壁にあるシャワーホースコネクタに接続します。

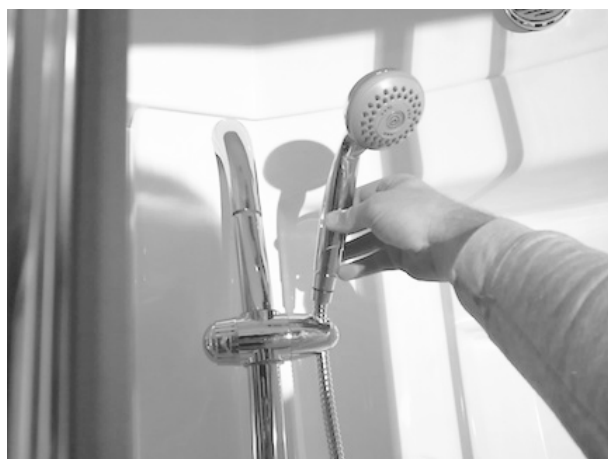


## 23 シャワーヘッドの接続

①シャワーホースのもう一方の端に、シャワーヘッドを接続します。



②シャワーヘッドをシャワーハンガーにセットします。



大変おつかれさまでした。  
これでシャワーブースの取付けは完了です。

このまま24時間おき、コーキング類が完全に乾燥すれば、ご使用頂けるようになります。

但し実際にご使用する前に、シャワーブース内の隅々にシャワーをかけ、水漏れ、給水不良、排水不良、通電不良などが無いことをご確認ください。

そしてこれらの不具合が発見されたら、ただちにその問題点を改善させ、問題点が完全に無いことを確認してからご使用を開始してください。



※本製品は輸入品につき、一部部品等のお取り寄せにはお待たせする場合がございます。

※商品改良のため、仕様、外観を予告なく変更する場合がございます。

販売元

 **ADVAN**  
株式会社 **アドヴァン**

〒150-0001  
東京都渋谷区神宮前4-3-2-14

TEL 03 (3475) 0281 (代)  
FAX 03 (3475) 0280